

ひろしまええと通信



安佐南区



とも福祉フェスタ — つながりが広がる地域の輪 —

地域の住民や団体が集い、ともに福祉を考える「とも福祉フェスタ」が10月26日(日)に開催されました。会場には子どもから高齢者まで幅広い世代が集まり、活気にあふれました。

ステージでは音楽や地域の魅力的な活動の発表があり、来場者の拍手が絶えません。ステージ以外では、みらいちゃんショップが出店し、障害のある方々による自主製品の販売や作品展示のほか、障がい者父母の会による相談ブース等があり、来場された方々は思い思いにフェスタの時間を楽しみました。

参加者からは「普段は知らなかった団体の活動を知ることができた」「地域の人とつながれる貴重な機会」という声が聞かれ、福祉を身近に感じる時間となりました。

とも福祉フェスタは、地域住民のつながりを深め、誰もが暮らしやすいまちづくりを進める大切な一歩となっています。

みらいちゃんショップについては、ひろしまええとこ つながり活動集(P.14)をご参照ください。



ハーモニカ演奏→

←マンドリン演奏



ひろしまええとこ つながり活動集

生活支援コーディネーターより

地域の皆さんが楽しそうに交流する場面をたくさんお見かけし、笑顔と温もりのおすそ分けをいただきました。あらためて実感した地域のつながりや支えあいの大切さを通じ、今後も地域の皆さんと手を取り合いながら、誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくりのお手伝いできればと思います。

西区

地域のつながりを育む

「みんな食堂井口サライ」

広島市西区の井口地区では、令和6年10月から、地域住民の新たな居場所として「みんな食堂井口サライ」がスタートしました。毎月1回、地域のお寺で地域の方々の協力のもと開催されています。



午後2時ごろになると、子どもたちが境内に集まり、元気に遊んだり、地域のボランティアと一緒に宿題に取り組んだり、思い思いの時間を過ごしています。

また、ひな祭り（3月）、そうめん流し（7月）、平和学習（8月）など、四季折々の行事も大切にされており、地域の文化や思いを子どもたちに伝える機会にもなっています。特にそうめん流しでは、「本物の竹を使った流しそうめんは初めて!」と、子どもたちの笑顔があふれていました。

開催当日は、地域の高校生ボランティアも参加し、準備や運営をサポート。食事は、地域の皆さんから寄せられた食材を使って調理され、お寺のホールでみんな一緒にいただきます。

「みんな食堂井口サライ」は、世代を超えた交流と、地域の温かさを感じられる大切な場所として、これからも多くの笑顔を育んでいきます。



地域（こども）食堂 交流会&寄贈品分配会を初開催！

令和7年8月29日に西区で活動する地域（こども）食堂の10団体が集まり、初の交流会と分配会を開催しました。交流会では、企業の社会貢献活動や寄贈品の背景について紹介した後、各団体が「うちの食堂自慢」を発表し、情報交換を行いました。

本交流会は、今後も継続的に開催します。次回からは、地域食堂の活動に興味・関心がある方の参加も受け入れ、ゆるやかなつながりを広げていきたいと考えています！



生活支援コーディネーターより

地域の中で、子どもたちや高齢の方、誰もが安心して過ごせる「居場所」が少しずつ広がっています。地域食堂は、食事だけでなく、人と人とのつながりを育む大切な場所です。これからも、地域の皆さんと一緒に、こうした居場所づくりを応援していきたいと思っています！

「令和7年度広島市住民主体型生活支援訪問サービス実施団体研修会兼交流会」を開催しました！



安佐北区会場

広島市住民主体型生活支援訪問サービスの実施団体を対象とした研修会・交流会を二日間開催しました。

10月27日（月）安佐北区総合福祉センターで開催し、約20名、10月28日（火）東区地域福祉センターで開催し、約40名の参加がありました。



東区会場

「広島市住民主体型訪問サービス」とは、「介護予防・日常生活支援事業総合事業」（介護保険）で実施する訪問型サービスの一つです。

実施団体が地域包括支援センターと連携を図りながら、地域で暮らす高齢者の「ちょっとした困りごと」を支援しています。

【前半 実施団体による広報取組事例発表とアドバイザーによる講評】

活動の周知と活動者募集の両方で分かりやすいチラシ作成やLINEを活用してのお知らせなど団体がそれぞれが取り組んでいる広報活動について発表を行い、その活動内容について広報のコンサルタントより講評をいただきました。

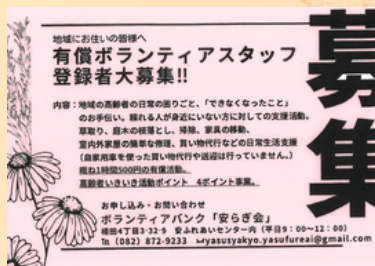
【後半 グループワーク 発表を聞いての意見交換】

グループワークでは発表を聞いて自分たちの団体でも取り組みそうな内容の共有や、団体が自慢したい広報の取組について思いを話していただきました。

大河地区社会福祉協議会 取組発表

安学区社会福祉協議会
活動者募集チラシ

- デザインのコツ（アドバイザーより）
- ①ターゲットを決める
 - ②メリハリをつける！
 - ③できるだけ省いて、シンプルに！
 - ④メインの色を決めて、カラーを統一する！
 - ⑤余白を大事に！
 - ⑥便利なツールを活用しよう！



グループワークで「他の団体の取り組みをきけて良かった、参考になった、自分の団体でも試してみようと思う」と前向きな言葉が多く聞かれました。



参加者の感想

- ・広報のあり方について検討しているところだったので、他団体の取り組みはとても参考になりました。町内会や学区社協、包括の皆様と連携を図りながら、団体の活動を対象の皆様へ周知していきたいと思ひます。加えて、SNSの活用も検討したいと思ひます。
- ・私もチラシを1から作る上で字の大きさや伝えたいこと、対象者の受けとり方やこちら側の立ち位置など考えて大変時間を要して作成しているので、講師の方の助言は大変参考になりました。各社協さんのボランティアにおける取組など、包括でも協力できたらと常々思っています。

【地域包括支援センター職員】

10月から新しく地域で活動をはじめた 「HataLab（ハタラボ）」さん

庭の草取り
部屋の掃除
買い物の付き添いなど

広島市住民主体型生活支援訪問サービス（住民主体型サービス）団体として、
地域のみなさんの“ちょっと困った”をお手伝いします！

— 立ち上げのきっかけ

地域に住んでいる人の困りごとに対して何か支援したいと思ったのがきっかけです。

日頃から町内会や子ども会等で、地域にお世話になっているため、恩返しの意味も込めて活動したいと思いました。

— 今後の目標・思いについて

支援をするだけでなく、支援を受けた方が『今度は自分が誰かのためにできることをやってみよう。』と思えるようなつながりを作っていきたいと思います。

HataLabが“ちょっとした困りごとを気軽に相談できる場”になるよう活動を広げていきたいです！



HataLab 代表
乗越さん

コメント

翠町学区社協 渡辺会長より

地域の中から、こうした思いを持って行動してくれる方が出てきたことを本当にうれしく思います。

困りごとを助けてくれる団体ができたことで、地域の安心につながると感じています。

これからの活動を
楽しみにしています。



エルモ翠町学区と協議➡
お互いの強みを活かし、地域がより
よくなるよう話し合いを行いました！

翠町

地域包括支援センターより

地域の皆さんが主体的に動かれる取組
が始まったことをうれしく思います。
包括としても連携していきたいです。



生活支援

コーディネーターより

“ちょっと困った”ときに気軽に
相談できる場として、少しずつ広
がっていくようにお手伝いしてい
きたいです！

これからも、地域のみなさんの
『こんな地域にしていきたい』
『こんなことできたらいいな』と
いう思いを大切に、一緒に動いて
いきたいと思います^^

<各地で実践されている“ええとこ”をお寄せください！>

地域活動に関する耳寄りな情報を教えていただき、定期的に発信していくことで、「ひろしまのええとこ」をみんなで共有できる情報紙を目指します。耳寄り情報は、市・区社協にいる生活支援コーディネーターへご連絡ください！

発行：社会福祉法人広島市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域共生係
〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター内
TEL：082-236-6172 FAX：082-264-6413

